

請願文書表

受理 番号	受 付 年月日	件名及び要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員	付託委員会
第 2 号	R7.5.30	件名：国民健康保険財政への国 庫負担の増額を求める意見書の 提出を求める請願 要旨：別紙写しのとおり	郡上市八幡町小野 6 丁 目 4－2 2 郡上市社会保障推進協 議会 代表 山口 薫	野田かつひこ	文教民生 常任委員会

令和 7 年第 2 回郡上市議会定例会



郡上市議会議長 森藤文男 様

請願団体 郡上市社会保障推進協議会
代表 山口 薫
住所 郡上市八幡町小野6丁目4-22
紹介議員 野田勝彦



国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書の提出を求める請願

【請願趣旨】

「高すぎる」と言われている国保料（税）の負担は、高齢者や自営業者だけでなく非正規雇用など多くの市民にとって収入の10%を超える大きな負担となり、いまや生活を圧迫する切実な問題となっています。一方、運営主体である各自治体においても基金を取り崩すなど国保料抑制の努力を続けてきましたがそれも限界となり、やむを得ず保険料（税）を引き上げざるを得ない状況になっています。こうした国保財政の運営の困難性は国保の持つ「構造的問題」に起因するものであり、もはや自治体の努力で解消できる段階は超えているものと思われます。

国においても低所得の方々の保険料軽減措置として全国知事会等との協議の結果、平成27年以降毎年約3,400億円の財政支援を行っていますが、全国知事会との議論の過程では、国民健康保険の保険料水準を協会けんぽ並みに引き下げるために必要な公費として1兆円の財政支援の拡充が必要という意見が出されています。また、その後も全国知事会、全国市長会それぞれから、更なる公費の投入が必要だとの要望も出されています。

また、国民健康保険には他の保険にない均等割があり、特に、子どもに係る均等割は子育て支援への逆行にほかならず、全国知事会からも廃止の要望が提出され、令和4年度からは未就学の子どもの均等割の減免が実施されています。この点に関しても更に減免の拡大が求められます。公的医療保険は国民に平等に医療を保障するための仕組みであり、加入する保険によって負担や給付に大きな格差があることは、国民皆保険制度の根幹にかかわる問題と言えます。同じ収入・世帯構成の家族が加入する保険が違っただけで、保険料（税）の負担が大きく異なる格差を解消することは、社会の公平・公正という点からも早急に是正されるべきです。

以上、地方自治法第99条の規定に従い、国へ意見書を提出して下さるよう請願いたします。

【請願事項】

政府に対し、国民健康保険財政への国庫負担を増額するよう意見書を提出してください。

